

母と子 (1938)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

時間 89分

初公開日 1938/07/01

【解説】

『神楽坂』が芥川賞候補となった矢田津世子の短編小説『秋扇』を、前年に「奥様に知らずべからず」で監督デビューした渋谷実が監督。脚色は柳井隆雄が担当。歳を取り会社重役から見放されていく妾と、そんな母親のようにはないと心に決める娘の姿を描く。娘役の中田絹代が難しいキャラクターを演じきった。

【クレジット】

監督	渋谷実	
原作	矢田津世子	
脚色	柳井隆雄	
撮影	杉本正二郎	
音響効果	斎藤六三郎	
演奏	松竹大船楽団	
指揮	鈴木家潤	
出演	田中絹代	知栄子
	吉川満子	その母 おりん
	佐分利信	寺尾
	河村黎吉	工藤
	徳大寺伸	孝吉
	水戸光子	しげ子
	松井潤子	おとよ
	斎藤達雄	岡部
	葛城文子	工藤夫人
	青野清	しげ子の父親
	高松栄子	下宿のおばさん
	松尾千鶴子	お松
	関かほる	仕舞の舞子
	大河三鈴	女学生
	南部耕作	秘書
	中尾兼徳	重役
	仲英之助	重役
	河原侃二	重役
	懸秀介	重役
	宮島健一	重役

磯野秋雄	社員
川名輝	社員
葉山正雄	給仕